

第27回がん臨床研究フォーラムプログラム

平成 29 年 6 月 9 日 (金) 於 : 国立がん研究センター内国際研究交流会館

<開会の辞> (9 : 00 ~ 9 : 10)

- ・全国がん (成人病) センター協議会会長 中 釜 齊
(国立研究開発法人国立がん研究センター理事長)
- ・第 27 回がん臨床研究フォーラム実行委員長 松 浦 成 昭
(地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 総長)

<午前の部>シンポジウム (9 : 10 ~ 12 : 00)

主題 : 「肺がん診療最前線 : 過去、現在、そして未来は？」 各発表 25 分 各討論 5 分
肺がん診療におけるこの 10 年余の進歩は、めまぐるしいものがある。検診は未だ胸部 X 線が行われているものの、CT で発見された (小型) 肺がんは増えており、その治療成績の改善は大いに期待される。外科治療では、胸腔鏡やロボット支援による低侵襲手術が導入され、入院期間の短縮や早期の社会復帰が容易となっている。内科薬物療法では、肺がんの発生や進展に関わる遺伝子変異が明らかにされ、それをターゲットとした分子標的薬と耐性克服薬の開発、さらにはがん免疫を蘇らせる免疫チェックポイント阻害薬の登場により、その治療戦略を一変させてしまったが、それには肺がんの分子病理学の進歩に因るところは大きい。放射線治療では、技術の進歩により高い精度を持って病巣照射が可能となり、高齢者やハイリスク患者にも適応が拡大されようとしている。

今回、肺がん診療の最前線におられる各分野の先生方より、肺がん診療の過去、現在、そして未来について、自験を踏まえてシンポジウム形式で広く御討議していただきたい。

座長 : 大阪国際がんセンター 副院長 東 山 聖 彦
大阪国際がんセンター呼吸器内科 副部長 熊 谷 融

問題提起 【9 : 10 ~ 9 : 15】

大阪国際がんセンター 副院長 東 山 聖 彦

1. 検診 : 肺がん検診の過去、現在、未来 【9 : 15 ~ 9 : 45】

大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部 部長 中 山 富 雄

2. 分子病理診断 : 進化し続けるバイオマーカー 【9 : 45 ~ 10 : 15】

愛知県がんセンター遺伝子病理診断部 部長 谷 田 部 恭

3. 外科治療：肺がんに対する最善の低侵襲外科治療を目指して【10：15～10：45】
鳥取大学医学部胸部外科学分野 教授 中村 廣 繁
4. 内科薬物治療【10：45～11：15】
大阪国際がんセンター呼吸器内科 副部長 西野 和 美
5. 放射線治療【11：15～11：45】
神奈川県立がんセンター放射線治療科 部長 中山 優 子

総合討論【11：45～12：00】

<昼食休憩> (12：00～12：50)

<午後の部>パネルディスカッション (12：50～15：25)

主題：「がん医療人材養成におけるがんプロの意義」

2007-11年度に実施された文部科学省の「がんプロフェッショナル養成プラン」および、2012-16年度の「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」を合わせて「がんプロ」と呼んでいます。10年間のがんプロの実施により、スタート時点では不足していた医療専門職の養成が着実に実施され、がんプロはがん医療人材養成に大きな役割を果たしてきました。2017年度からは多様な新ニーズに対応するがんプロが開始される予定です。がんプロは大学における人材養成事業で、全がん協の各医療施設にはなじみが薄いかもかもしれませんが、育った人材は各地のがん診療連携拠点病院で活躍しますので、人材を受け取る側の立場からがんプロ教育に対する意見を頂ければ幸いです。

座長：大阪国際がんセンター

総長 松浦 成 昭

1. がんプロの歩み【12：50～13：05】

大阪国際がんセンター総長 全国がんプロ協議会会長 松浦 成 昭

2. 各専門職の養成の現況と将来

- 1) 薬物療法専門医【13：05～13：25】(講演15分 質疑5分)
東北大学病院 副病院長兼腫瘍内科長 石岡 千加史
- 2) 放射線治療専門医【13：25～13：45】(講演15分 質疑5分)
広島大学大学院医歯薬保健学研究科放射線腫瘍学 教授 永田 靖
- 3) 緩和医療専門医【13：45～14：05】(講演15分 質疑5分)
岡山大学大学院保健学研究科 教授 岡山大学病院緩和支援医療科 科長 松岡 順 治

- 4) がん看護専門看護師 【14:05 ~ 14:25】(講演 15 分 質疑 5 分)
兵庫県立大学 理事兼副学長・看護学部教授 内 布 敦 子
3. 新規がんプロの概要 【14:25 ~ 14:40】(講演 10 分 質疑 5 分)
文部科学省高等教育局医学教育課医学教育係 係長 赤 石 亘
4. がん医療人材養成の将来 【14:40 ~ 14:55】(講演 10 分 質疑 5 分)
厚生労働省健康局がん・疾病対策課 主査 丸 野 正 敬

総 合 討 論 【14:55 ~ 15:25】

<閉会の辞> (15:25 ~ 15:30)

大阪国際がんセンター

副院長 東 山 聖 彦